

不具合事例

整理番号 A-04-001

タイトル	水処理施設より発生したメタンガスに溶接火花が引火！		
工種	<input type="checkbox"/> 調査 <input checked="" type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第一種特定有害物質、第二種特定有害物質、第三種特定有害物質、油類		
土地履歴	<input type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="text-align: center; color: red;">「溶接箇所の周囲状況をまず確認！！」</p> 		
作業内容	溶接全般		
使用機器	溶接機械		
不具合事項			
<ul style="list-style-type: none"> 水処理施設の周辺にて溶接作業中、泥水より発生する可燃性ガスに引火した。 			
予防措置(計画者・監督者・作業員)			
<ul style="list-style-type: none"> 溶接作業前に周囲の状況を確認し、可燃性ガスが発生する恐れのある設備を把握する。作業時は、引火物を撤去するとともに、消火設備(消火器等)を用意する。(計画者・監督者) 事前に対象地域の土壌や処理後泥水の特性(引火性等)を把握する。(計画者・監督者) 可燃性ガスが発生する恐れがある場合には、送風や換気によるガス希釈等の措置を実施するとともに、作業開始前や作業中断後の再開時に、検知管等にてガス濃度を測定して、問題がないことを確認した後、溶接作業を行う。(計画者・監督者) 送風や換気を行い、ガス濃度を低減させる。(計画者・監督者) 			
応急措置			
<ul style="list-style-type: none"> 発火を確認したら、直ちに点火源を止め、周囲の作業員に知らせる。 消火設備を用いて速やかに消火活動に入る。 火花や高熱が発生する機械類の使用を停止する。 火災等の災害が起きた場合は、消防等の関係各所に連絡する。 			
その他、留意事項			
<ul style="list-style-type: none"> 水処理施設については可燃性ガス(メタンガス等)が発生しやすいので特に注意する。 土壌に有機物が多く含まれる地域では、掘削中の機械火花が原因で土中の可燃性ガスが発火する可能性もある。 			
関連法規等、出典	消防法		
キーワード	溶接、可燃性ガス、引火、換気		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微

タイトル	水処理施設より発生したメタンガスに溶接火花が引火！	
説明図	<p style="text-align: center;">「溶接箇所の周囲状況をまず確認！！」</p>  <p>The illustration shows a worker in a yellow hard hat and safety gear welding a large blue structure labeled '水処理施設' (Water Treatment Facility). A large, bright yellow and white explosion occurs to the right. Another worker in a yellow hard hat and safety gear is shown reacting in shock, with a large 'X' over their face and a speech bubble containing the text '「溶接箇所の周囲状況をまず確認！！」' (First, check the surrounding conditions of the welding area!!).</p>	
作業内容	・溶接全般	
指示事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・溶接作業前に周囲の状況を確認し、可燃性ガスが発生する恐れのある設備を把握する。作業時は、引火物を撤去するとともに、消火設備（消火器等）を用意する。 ・事前に対象地域の土壌や処理後泥水の特性（引火性等）を把握する。 ・可燃性ガスが発生する恐れがある場合には、送風や換気によるガス希釈等の措置を実施するとともに、作業開始前や作業中断後の再開時に、検知管等にてガス濃度を測定して、問題がないことを確認した後、溶接作業を行う。 ・送風や換気を行い、ガス濃度を低減させる。 		
どんな不具合が起こりうるか？		
だから私たちはこうします		
本日の重点施策	ヨシ!!	
サイン		